

施設名称：大阪府立弥生文化博物館	指定管理者：大阪府文化財センター・近鉄ビルサービスグループ	指定期間：平成29年4月1日～平成32年3月31日	所管課：大阪府教育庁 文化財保護課
------------------	-------------------------------	---------------------------	-------------------

評価項目	評価の基準（内容）	指定管理者の自己評価 （11月記入）		施設所管課の評価 （12月記入）		評価委員会の指摘・提言		
		評価 S～C	評価 S～C	H29 評価	評価 S～C			
I 提案の履行状況に関する項目	(1)施設の設置目的および管理運営方針	<p>◇館の設置目的及び提案内容に沿った管理運営がなされているか</p> <p>○資料の収集・整理・保管と活用</p> <p>○歴史、文化等に関する教育への寄与</p> <p>○池上曽根史跡公園、池上曽根弥生学習館と一体となった事業の実施</p> <p>・事業実施 4回</p> <p>○大阪の魅力の発信</p> <p>・大阪府の遺跡を紹介するスポット展示の開催 1回</p>	<p>○資料の収集、整理、保管、展示</p> <p>重要資料は、特別収蔵庫においてモニター監視のもとに温度 20～24 度、湿度 50～60%を維持する適切な温湿度管理に努め、厳重に保守管理を行った。</p> <p>新規寄贈・購入図書等（計 1,412 冊）は、データベースに入力し、調査研究の資料として活用した。</p> <p>○歴史、文化に関する教育への寄与</p> <p>学校教育との緊密な連携（校外学習、出前授業等）により、学芸員や教育専門員等が具体的な素材を用いてわかりやすく解説することで、社会教育施設である博物館の歴史学習の場としての役割を果たし、歴史・文化等に関する教育の充実に寄与した。</p> <p>○池上曽根史跡公園、池上曽根弥生学習館と一体となった事業の実施</p> <p>・事業実施 4回</p> <p>史跡公園で開催された「JAいずみの農業まつり」「和泉市商工まつり」「音☆楽市」、学習館で開催された「ふれあいまつり」において、土器・銅鐸パズルのワークショップを実施した。また、台風21号で被災し長期休館を余儀なくされた学習館の事業を支援した。</p> <p>○大阪の魅力の発信</p> <p>・スポット展示の開催 1回（1月予定）</p> <p>冬季企画展と関連したスポット展示を1月から開催予定。最新の発掘調査成果を紹介することによって、大阪の魅力を発信する。また、弥生プラザ展示「方形周溝墓に供えた土器」「池上曽根遺跡出土の弥生土器」も開催した。</p> <p>29年度の文化庁補助事業において制作した「はくふだ」の配付を継続し、泉州の8つの博物館施設の認知と利用を促進した。</p>	A	<p>○資料の収集・整理・保管と活用</p> <p>実物資料の適切な管理・活用等が行われているほか、関係機関等からの多数の寄贈図書についても適切に管理されている。</p> <p>○歴史、文化等に関する教育への寄与</p> <p>学校等の受け入れ（104回）や出前授業（103回）による学校教育への寄与に加え、漫画やアニメ、情報技術を活用した解説等小・中学生が楽しく学べる事業が実施されており、計画を上回る実施状況である。</p> <p>○池上曽根史跡公園、池上曽根弥生学習館と一体となった事業の実施</p> <p>史跡公園及び学習館での事業実施に加え、被災した学習館に代わっての体験学習の受入れ等の支援もなされており、計画を上回る実施状況である。</p> <p>○大阪の魅力の発信</p> <p>スポット展示に加え、弥生プラザ展示も開催されており、評価基準を満たしている。</p>	A	S	

	<p>○府民との協働、活動の場の提供</p> <p>○大学・企業・NPO法人等との協働</p> <p>○調査研究による最新の成果の発信</p> <p>○グループ化による効率的・効果的事業の実施</p> <p>○連携による効率的・効果的な展示企画</p>	<p>○府民との協働、活動の場を提供 エントランスホールで実施するミュージアムコンサートの出演者、ミニギャラリーの出展者を募集し、府民の活動の場としての利用を促進した。</p> <p>○大学・企業・NPO法人との協働 大阪芸術大学の協力を得て、「夏休みフェスタ！」及び「関西文化の日」においてプロジェクションマッピング体験及びプログラミング教室を実施した。早稲田大学、名古屋大学、東海大学、日本電気検定所、紙 cafe 等の協力により多彩なワークショップを実施した。また、NPO「はにコット」と連携し、相互のワークショップイベントに出展した。</p> <p>○調査研究による最新の成果の発信 夏季特別展「弥生のマツリを探る」及び秋季特別展「発見！古代エジプト」の図録・リーフレットを発行した。また、弥生プラザ展示として「方形周溝墓に供えた土器」「池上曾根遺跡出土の弥生土器」と題した土器類の展示をした。</p> <p>○グループ化による効率的・効果的事業の実施 博物館の具体的事業運営は大阪府文化財センター、施設管理は近鉄ビルサービスと分担し、両者の専門性に即した業務を実施した。また、近鉄グループのネットワークを活用し、あべのハルカス等において、講演会、ワークショップ等の事業を実施した。</p> <p>○連携による効率的・効果的な企画展示 春季企画展「とんぼ玉100人展」をとんぼ玉100人展実行委員会（事務局＝佐竹ガラス株式会社：和泉市）及び日本ランプワーク協会との共同主催事業として開催し、秋季特別展「発見！古代エジプト」を古代オリエント博物館の特別協力を得て開催した。また、大阪府立中央図書館と連携し、館外展示を実施した。</p> <p>◎自己評価 弥生時代と現在を繋ぐ博物館として、小中学校との連携、隣接関連施設での催しへの出展、弥生プラザ及びスポット展示（予定）の開催、ミュージアムコンサ</p>	<p>○府民との協働、活動の場を提供 ミュージアムコンサート、ミニギャラリーにより府民に活動の場が提供されている。</p> <p>○大学・企業・NPO法人との協働 大学・企業・NPO法人との多様な協働事業が館の内外で実施されている。</p> <p>○調査研究による最新の成果の発信 展示や図録等により、近年の新たな発見等が織り込まれた調査研究成果が発信されている。</p> <p>○グループ化による効率的・効果的事業の実施 両者それぞれの専門性を活かした管理運営、グループ化を活かした事業実施が行われている。</p> <p>○連携による効率的・効果的な企画展示 他館等と連携した展示事業が館の内外で実施されている。</p> <p>◎施設の設置目的および管理運営方針にかかる評価 すべての評価基準を満たしている。また、教育への寄与、多様な連携事業、被災した</p>			
--	--	---	---	--	--	--

		ート、ミニギャラリーにおける府民との協働、大学及び各団体との協働による連携企画の実施等を通じて、博物館の設置目的と提案内容に沿った管理運営をすることができた。		他館の支援等、全体として計画を上回る実施状況と評価できる。			
(2) 平等な利用を図るための具体的手法・効果	<p>◇公平なサービス提供と対応、障がい者・高齢者への配慮がなされているか</p> <p>○高齢者、障がい者等への利用援助</p> <p>○子どもにもわかりやすい解説の充実</p>	<p>○高齢者、障がい者等への利用援助</p> <p>9月の敬老の日においては、65歳以上の入館料を無料として利用促進を図った。また来館された高齢者に対してはより積極的な声掛けを実施し、初めての方にも安心して博物館を利用してもらえる一日とした。</p> <p>障がい者が参加できるワークショップ「土器銅鐸パズル」等を実施したほか、支援学校への出前授業では「火おこし」「土器さわり」「もみすり」等を行った。ミュージアムコンサートに際しては、視覚障がい者への音声コード付コンサートプログラムの提供を行った。</p> <p>○子どもにもわかりやすい解説</p> <p>館キャラ「カイト」と「リュウさん」による弥生時代を解説する「4コママンガ」と「弥生博アニメ」をホームページ及び館内のデジタルサイネージに掲載した。また、VRブースにおいて、遺跡VRによる遺跡情報を提供し、秋季特別展に関連してエジプトVRを追加した。その他、ICタグをかざすだけの簡便なアクセス方法を利用した展示巡回システムによる、ゲーム感覚で学べるコンテンツの提供を継続した。</p> <p>秋季特別展では、シール投票式の「えじぷトリビア」の設置や、より初心者向けの「教えてハルポくん」などのパネルを追加し、好評を得た。</p> <p>◎自己評価</p> <p>高齢者、障がい者等への利用援助に努めるとともに、楽しく学習してもらうため、最新のデジタル機器を活用する等のさまざまな工夫によって、子どもたちに、弥生時代についての幅広い知識を伝えることができた。</p>	S	<p>○高齢者、障がい者等への利用援助</p> <p>高齢者や障がい者への援助や、利用促進を図る事業が実施されている。</p> <p>○子どもにもわかりやすい解説の充実</p> <p>漫画、アニメ、情報技術の活用、特別展における子どもも参加しやすい関連事業の実施等、わかりやすい解説の充実がなされている。</p> <p>◎平等な利用を図るための具体的手法・効果にかかる評価</p> <p>すべての評価基準を満たしている。また、工夫をこらした事業が実施されており、全体として計画を上回る実施状況と評価できる。</p>	S	S	
(3) 利用者の増加を図るための具体的手法・効果	<p>◇利用者増加のための工夫がなされているか</p> <p>○特別展・企画展の充実</p> <p>・開催回数 4 回</p>	<p>○特別展・企画展の充実</p> <p>・ミュージアムギャラリー、夏季特別展、秋季特別展 4回（うち1回は1月から開催予定）</p> <p>春季企画展「とんぼ玉100人展－輝く手のひらの華－」（開催日数 56 日、入館者 12,682 名）、夏季特別</p>	A	<p>○特別展・企画展の充実</p> <p>冬季企画展の開催により評価基準を満たす見込みである。</p>	B	A	

		<p>○「木曜大学」講座の実施 ・開催回数 12 回</p> <p>○他地域・他館との連携</p> <p>○学校教育との連携 ・学校等の受入回数 130 回</p>	<p>展「弥生のマツリを探るー祈りのイメージと祭場ー」 (開催日数 46 日、入館者 6,675 名) を開催、秋季特別展「発見！古代エジプトー7つのひみつと最新エジプト研究ー」を開催中。1月から冬季企画展「弥生時代の高地性集落とはー大阪における特徴と性質ー」を開催予定。</p> <p>○「木曜大学」講座の実施 ・木曜大学 11 回 平日の事業として、連続講座「木曜大学」を開催。今年「クローズアップ、弥生の前／古墳の後」をテーマに、旧石器時代から縄文時代と、奈良時代から近代遺産までに焦点をあて、館長、副館長が講義を行った。平均 184 名の参加者があった。(9/6 の第7講は、台風21号被害による臨時休館により中止)</p> <p>○他地域・他館との連携推進 秋季特別展「発見！古代エジプト」を、古代オリエント博物館の特別協力により開催した。また、エジプト政府観光局による後援、国内4大学の協力を得て特別展を充実させた。学生によるワークショップと講演が好評を博した。 29 年度文化庁補助事業により制作したカード型教材「はくふだ」の活用連携事業を継続し、池上曾根弥生学習館、貝塚市歴史展示館、岸和田城、泉南市埋蔵文化財センターと連携して、「はくふだまつり」を「夏休みフェスタ！」と同時に開催した。</p> <p>○学校教育との連携 ・学校等の受け入れ回数 104 回 小学生、中学生の校外学習を積極的に受け入れ、高校生の課題研究、研究旅行等にも対応した。今宮高校の課題研究に関しては、学芸員とともに研究を進め、成果については、「知りたいっ！弥生のおこめ」と題してエントランスホールに展示し、生徒たちが展示解説を行った。また、高校の社会科教育部会の研修見学会を受け入れ、連携について意見交換を行った。この他、中学生の職場体験を受け入れ、幼稚園・保育園に対しても、紙芝居、竪穴住居の疑似発掘・復元体験等の学習体験を実施した。</p>		<p>○「木曜大学」講座の実施 被災による 1 回の中止があったが、11 回の実施がなされている。</p> <p>○他地域・他館との連携 他地域・他館との連携により展示その他の事業が実施されている。また、平成 29 年度文化庁補助事業の成果も効果的に活用されている。</p> <p>○学校教育との連携 ・学校等の受け入れ回数 進捗状況は 80.0% であり、評価基準を満たす見込みである。</p>		
--	--	--	--	--	--	--	--

	<ul style="list-style-type: none"> ・出前授業（小・中学校）の実施 60 回 ・「子ども一日館長」の任命 1 回 ○「出かける博物館」事業の実施 <ul style="list-style-type: none"> ・館外における出張講座 19 回 ○「府民が参加する博物館」事業 <ul style="list-style-type: none"> ・ミュージアムコンサートの実施 16 回 ・ミニギャラリーの実施 4 回 ◇利用者数 <ul style="list-style-type: none"> ○入館者数及び館外利用者数 <ul style="list-style-type: none"> ・総入館者 50,000 人 ・館外利用者 33,400 人 <p>【参考】平成 29 年度実績</p> <ul style="list-style-type: none"> ・総入館者数 45,341 人 ・館外利用者 24,464 人 	<ul style="list-style-type: none"> ・出前授業実施 103 回 3,008 人 府内の小学校、支援学校、放課後教室等からの要請を受け、出前授業を実施した。多くの要望に応えた結果、既に目標回数を超える授業を実施している。 ・「子ども一日館長」の任命 1 回（予定） 地元小学校の協力を得て、H31 年 3 月に実施を予定している。今後も恒例事業として定着させ、子どもたちと博物館との距離を縮める機会とする。 ○「出かける博物館」事業 <ul style="list-style-type: none"> ・館外における出張講座 27 回 大学、博物館、関係団体からの要望により、出張講座を 5 回行った。加えて関係団体と連携し、館外において「土器・銅鐸パズル」「消しゴム勾玉づくり」「銅鐸風鈴をつくろう！」「卑弥呼の時代の鏡をつくろう！」などの各種ワークショップを 22 回実施した。 ○「府民が参加する博物館」事業 <ul style="list-style-type: none"> ・ミュージアムコンサート 20 回（うち 10 回は予定） さまざまなジャンルのミュージシャンたちによるコンサートを開催。9 月には、夕方開催のトワイライトコンサートを、開館時間を延長して実施した。コンサートは予定通り開催されており、3 月末には、計 20 回となる見込み。 ・ミニギャラリー実施 3 回 エントランスホールにおいて「清水千真書道展 旅路・TABIJI」「絵画コンテスト優秀作品展」「三田崇博写真展 古代エジプト世界遺産」を実施した。 ○入館者数及び館外利用者数 <ul style="list-style-type: none"> ・入館者数 38,231 人 進捗率 76.5% 台風 20、21 号の影響により、計 5 日間の臨時休館等不測の事態が生じ、8～9 月に入館者がかなり減少した。その後、秋季特別展の人気、和泉市商工まつり・関西文化の日の入館者の大幅増加等により入館者数は挽回し、累計で目標を上回っている。今後、冬季企画展、冬のやよいミュージアム、弥生フェスティバルなどの開催により、年度末の目標達成を目指していく。 ・館外利用者 15,198 人 進捗率 45.5% 	<ul style="list-style-type: none"> ・出前授業の実施 進捗状況は 171.7% であり、既に評価基準を超えている。 ・「子ども一日館長」の任命 3 月の開催により評価基準を満たす見込みである。 ○「出かける博物館」事業 <ul style="list-style-type: none"> ・館外における出張講座 進捗状況は 142.1% であり、既に評価基準を超えている。 ○「府民が参加する博物館」事業 <ul style="list-style-type: none"> ・ミュージアムコンサートの実施 3 月までに計 20 回開催予定であり、評価基準を満たす見込みである。 ・ミニギャラリーの実施 ミニギャラリーが計 3 回実施されており、評価基準を満たす見込みである。 ○入館者数及び館外利用者数 <ul style="list-style-type: none"> ・入館者数 評価基準を満たす見込みである。 ・館外利用者数 	
--	--	---	--	--

	<p>◇利用者満足度調査</p> <p>○利用者満足度調査の結果</p> <p>・「満足」「やや満足」の割合 90%</p>	<p>小学校への出前授業を中心に、学芸員による出張講座、ワークショップ等を実施し、昨年以上の参加者を得ているが、出張展示をしている弥生学習館が台風21号の被害により9月以降休館しており、目標達成が難しい状況となっている。</p> <p>○利用者満足度調査の結果</p> <p>・「満足」「やや満足」の割合 96.6%</p> <p>春季企画展と夏季特別展における調査結果の平均は上記のとおりとなった。今後、秋季特別展、冬季企画展の調査をすすめ、目標の達成を目指す。</p> <p>◎自己評価</p> <p>春季企画展では、全国のとんぼ玉制作者の優れた作品を、夏季特別展では、弥生時代の祭場に関する資料を、秋季特別展では、国内の古代エジプト資料を展示し、好評を得た。春季企画展はとんぼ玉100人展実行委員会(佐竹ガラス株式会社)、日本ランプワーク協会との共同主催事業として、秋季特別展は古代オリエント博物館の特別協力を得て、さらに企画展・特別展を充実させた。利用者増加のための工夫については、台風による臨時休館により中止せざるを得なかったものを除き、それぞれの目標数値を達成しつつある。利用者数も、上記の理由によって8～9月の入館者が減少したものの、11月に回復し、目標が達成できる見込みとなっている。利用者満足度調査の結果も、春季企画展、夏季特別展の結果では、目標を上回っている。</p> <p>また、館外の出張講座も既に目標を大きく上回っている。館外での各種ワークショップについても、積極的にすすめた結果、実施回数は昨年同様22回を数えた。</p>		<p>評価基準に満たない可能性がある。</p> <p>○利用者満足度調査の結果</p> <p>・「満足」「やや満足」の割合</p> <p>評価基準を満たす見込みである。</p> <p>◎利用者の増加を図るための具体的手法・効果にかかる評価</p> <p>評価基準を満たす見込みのもの、すでに超えているものが大半であるが、「木曜大学」、「館外利用者数」は評価基準に満たない可能性がある。「木曜大学」は台風に伴う臨時休館による中止、「館外利用者数」は事業連携館の被災による長期休館が主な原因と考えられる。</p> <p>台風等による臨時休館、館自体の被災もあった中で、入館者数を含め概ね評価基準を満たす見込みであること、大きく超えるものもあることから、全体として計画どおりの実施状況と評価できる。</p>			
<p>(4)サービスの向上を図るための具体的手法・効果</p>	<p>◇サービスの向上が図られているか</p> <p>○イベントと連携した入館料無料日の実施</p>	<p>○イベントと連携した入館料無料日の実施</p> <p>「和泉市商工まつり」「関西文化の日」と連携して入館無料の日とし、多彩なワークショップを実施するなどして府民の利用を促進した。夏休みには、子ども向けに「夏休みフェスタ!」を開催し、同じく入館無料の日とした。今後、2月に「冬のやよいミュージアム」、3月に「弥生フェスティバル」を開催予定。</p>	<p>A</p>	<p>○イベントと連携した入館料無料日の実施</p> <p>他館等との連携、夏休みの実施等、効果的に入館料無料の日が実施されている。</p>	<p>A</p>	<p>A</p>	

	<p>○ホームページの活用</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ホームページ更新回数 24 回 ・ホームページアクセス件数 30 万回 <p>○SNS の活用</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ Facebook のフォロワー数 1700 <p>○館外における資料の活用</p> <p>○施設の積極的な活用</p> <ul style="list-style-type: none"> ・体験ゾーンの活用 130 回 	<p>○ホームページの活用</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ホームページ更新 23 回 ・ ホームページアクセス件数 156,515 回 <p>ホームページに最新情報をアップロードするとともに、「カイト」と「リュウさん」による 4 コママンガやアニメを連載することで、弥生時代を楽しく学んでもらう機会を提供することができた。</p> <p>○SNS の活用</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ Facebook のフォロワー数 1,670 <p>Facebook により、催事の告知や館の活動を発信した。</p> <p>○館外における資料の活用</p> <p>大阪府立中央図書館で「卑弥呼の時代を描こう」展を開催した。</p> <p>○施設の積極的な活用</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 体験ゾーンの活用 149 回 <p>小学生等を対象に、体験ゾーン「竪穴住居の発掘と復元」の利用促進に努めた結果、既に目標の活用回数を超えた。</p> <p>◎自己評価</p> <p>館内外のイベントと連携して、入館料無料の日を設け、広く府民に博物館を利用してもらう機会とした。今後、冬季、春季にも入館料無料の日を設定する予定で、季節ごとの実施を目指していく。また、ホームページを迅速に更新し、フェイスブックでの発信によって最新の情報を提供した。アクセス件数は昨年と比較してやや減少しているが、12月から開始するインスタグラムによる発信によって、アクセス件数の目標達成を目指していく。</p>		<p>○ホームページの活用</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ホームページ更新回数 <p>進捗状況は 95.8% であり、評価基準を満たす見込みである。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ホームページアクセス件数 <p>進捗状況は 52.2% であり、評価基準に満たない可能性がある</p> <p>○SNS の活用</p> <p>進捗状況は 98.2% であり、評価基準を満たす見込みである。</p> <p>○館外における資料の活用</p> <p>図書館における展示により資料活用が図られ、当館の周知にもつながっている。</p> <p>○施設の積極的な活用</p> <ul style="list-style-type: none"> ・体験ゾーンの活用 <p>進捗状況は 114.6% であり、既に評価基準を超えている</p> <p>◎サービスの向上を図るための具体的手法・効果にかかる評価</p> <p>「ホームページアクセス件数」については評価基準を満たさない可能性があるが、その他は評価基準を満たすあるいは超える見込みである。また、新たにインスタグラムによる発信を開始するなど評価委員会での意見を活かした事業実施がなされている。</p>		
<p>(5) 新しい展示テーマ・運営手法の実行</p>	<p>◇魅力ある展示のテーマ選定、運営手法がとられているか</p> <ul style="list-style-type: none"> ○多様なニーズに応える展示の実施 	<p>○多様なニーズに応えるための展示</p> <p>常設展示リニューアルに伴って増設されたデジタルサイネージを活用して、ビジュアルでわかりやすい可変展示を行った。ホームページに連載している「4コママンガ」をここにも掲載し、館内でもその内容を見ることができるようにした。さらに最新のデジタル機器の活用に取り組み、ICタグをかざすだけの簡便な</p>	<p>S</p> <p>○多様なニーズに応える展示の実施</p> <p>デジタル機器の活用等により、多様なニーズに応える常設展観覧環境が提供されている。また、特別展においても新たな手法を取り入れた事業が実施されている。</p>	<p>S</p>	<p>S</p>	

	<p>○楽しくわかりやすい解説の実施</p>	<p>アクセス方法を利用した展示巡回システム、VRによる遺跡情報の提供を行った。</p> <p>秋季特別展において、ユービーアイソフト株式会社の協賛により、プレイステーションによる「アサシンクリード 古代エジプトディスカバリーツアー」の体験を実施した。</p> <p>○楽しくわかりやすい解説の実施</p> <p>従来からの音声ガイド（日本語、英語）に加えて、館キャラ「カイト」と「リュウさん」による音声ガイドを希望者に無料貸し出ししており、子どもだけではなく大人からも好評を得ている。館キャラによる音声ガイドは、英語、中国語、韓国語バージョンも備えている。</p> <p>秋季特別展において、古代エジプトに造詣の深い声優の奥井ゆうこ氏による音声ガイド「ハルポクラテスの古代エジプトツアー」を制作し希望者に無料で提供した。また、12月には本人による特別解説の実施を予定している。</p> <p>◎自己評価</p> <p>従来の展示手法による常設展示を補完するかたちで、最新のデジタル機器を用いた展示・解説を試みた。デジタルサイネージのマンガ、VRによる遺跡紹介、館キャラや声優による音声ガイド等によって、年少者にも弥生文化への興味を呼び起こすことができた。また、秋季特別展における「古代エジプトディスカバリーツアー」の体験実施は、普段デジタルゲームをする機会のない高齢者等からも好評を得た。これらによって魅力ある博物館運営が可能となった。</p>		<p>○楽しくわかりやすい解説の実施</p> <p>館キャラによる漫画や音声ガイド、声優による音声ガイド等により親しみやすくわかりやすい解説が提供されている。</p> <p>◎新しい展示テーマ・運営手法の実行にかかる評価</p> <p>すべての評価基準を満たしている。また、デジタル機器、館キャラ、漫画の活用に加え、特別展においても声優による音声ガイドやデジタルゲームの導入等、楽しくわかりやすい解説が提供されている。</p>			
<p>(6)他機関等との相互協力</p>	<p>◇提案内容に沿った相互協力がなされているか</p> <p>○博物館、民間企業、大学、民間団体等との事業連携</p>	<p>○博物館、民間企業、大学、民間団体等との事業連携</p> <p>・博物館：古代オリエント博物館、貝塚市歴史展示館、岸和田城、きしわだ自然資料館、八尾市立しおんじやま古墳学習館、関西大学博物館等と展示、出張講座、ワークショップイベント等において連携した。(計6件)</p> <p>・民間企業：ららぽーと和泉（株式会社スコープ）における「こどもだいがく弥生時代の生活を学ぼう!」、西宮阪急子育てコミュニティーにおける「夏休みコトコト探検隊」、あべのハルカス近鉄本店まなぼスタジオ</p>	<p>S</p>	<p>○博物館、民間企業、大学、民間団体等との事業連携</p> <p>博物館、民間企業、大学、民間団体等と数多くの連携事業が実施されている。</p>	<p>S</p>	<p>S</p>	

		<p>における「サマーキャンパス」の各ワークショップに出展。紙 café、日本電気計器検定所等に対して、夏休みフェスタ、関西文化の日ワークショップへの出展を招致。近鉄文化サロン等と出張講座事業において連携した。特別展開催に関して、ユービーアイソフト株式会社協賛によるゲームソフトの体験、株式会社国際交流サービスの協賛による遺跡見学ツアー（2月予定）を実施した。（計 10 件）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大学：関西大学の動態モニタリングと展示評価調査への協力、奈良大学、近畿大学等の各種授業科目に対しての展示解説を実施した。大阪芸術大学、早稲田大学、名古屋大学、東海大学と関西文化の日等のワークショップにおいて連携した。また、「若き考古学徒、論壇デビュー！」と題して、大阪大学、大阪市立大学等の大学・大学院生による研究発表の場を設ける予定（1、3月）。（計 11 件） ・民間団体等：高槻市のNPO「はにコット」と連携し、相互のワークショップイベントへの出展、学芸員による出張講座等により協力関係を深めた。大阪高齢者大学とは、団体見学時の解説、講演会への学芸員の講師派遣（予定）により連携した。また、研究会「近畿弥生の会」との共催で、2018年度弥生時代講座「聞いてなっとく弥生の世界」を通年で開講している。（計 3 件） <p>◎自己評価</p> <p>博物館、民間企業、大学、NPO法人、研究会等との幅広い相互協力により、展示、実習、ワークショップ、出張講座等を実施した。その結果、「産」「学」「民」との連携により、博物館の役割の一つである「府民協働」を進めることができた。</p>		<p>◎他機関等との相互協力にかかる評価</p> <p>評価基準を満たしている。府内における相互協力に加え、関東地方の大学や博物館も含めた幅広い相互協力による事業実施が積極的に行われていることから、全体として計画を上回る実施状況と評価できる。</p>			
(7)施設及び資料の維持管理の内容、的確性	<p>◇施設・設備の維持・安全管理計画は適切か</p> <p>○施設管理</p> <ul style="list-style-type: none"> ・年間計画の策定と適切な実施 	<p>○施設管理</p> <ul style="list-style-type: none"> ・指定管理者グループ内の緊密な情報交換のもとに策定された施設管理年間計画に従い、施設管理を行った。冷暖房機器、警報機器、昇降機等において故障が生じた場合、近鉄ビルサービスによる迅速な修復が行われる体制となっている。 ・台風21号被害による第一展示室の雨漏りに際して、アール屋根の応急修理ならびに応急防水工事を実施した。 	A	<p>○施設管理</p> <p>年間計画が策定され、計画に沿った施設管理が実施されている。また、緊急を要する被災時においても迅速な対応がなされている。</p>	A	A	

	<p>○危機管理</p> <ul style="list-style-type: none"> ・マニュアルの徹底・履行 ・防災訓練の実施 <p>○定期点検の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・記録簿の作成 	<p>○危機管理</p> <ul style="list-style-type: none"> ・火災、その他災害の予防および危機事象発生における対応について定めた危機管理対応マニュアルを改訂した。 ・和泉市消防本部の指導による自衛消防訓練の実施を予定している（12月）。 <p>○定期点検の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・エレベータ保守点検（8回）、消防設備点検（1回）等、施設・設備の保守定期点検を実施し、記録簿を作成した。また、近鉄ビルサービスによる総合ビルメンテナンスの専門的見地から、経年劣化等により修繕が必要な箇所を抽出し、所管課に改善を提案した。 <p>◎自己評価</p> <p>博物館施設、設備、館蔵資料は、指定管理者グループ内ならびに所管課との緊密な連携により適正に維持管理を行った。これにより、来館者の見学環境及び資料の保存・展示環境を良好に保つことができた。また、適切な危機管理体制によって、安全な施設管理が行えた。</p>		<p>○危機管理</p> <ul style="list-style-type: none"> ・危機管理対応マニュアルの徹底がなされ、被災時においても適切な対応がとられている。 ・防災訓練の実施が適切に行われている。 <p>○定期点検の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> 施設・設備の定期点検が適切に実施され、記録簿の作成がなされている。 <p>◎施設及び資料の維持管理の内容、的確性にかかる評価</p> <p>すべての評価基準を満たしている。また、施設の老朽化による機器の故障、台風等による被災の際にも、適切な危機管理体制により迅速な対応がとられている。</p>		
<p>(8)府施策との整合</p>	<p>◇提案に沿った府施策との整合が図られているか</p> <ul style="list-style-type: none"> ○「こころの再生」府民運動への協力 ・「こどもファーストデイ」の実施 12回 <p>◇就職困難者等の雇用・就労支援の実施</p> <p>◇環境問題への取り組み状況</p>	<p>○「こころの再生」府民運動への協力</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「こどもファーストデイ」の実施 8回 <p>毎月第3土曜日を「子どもファーストデイ」とし、同伴の保護者についても入館料無料としたほか、各種ワークショップ（弓矢体験、米つき体験、石器体験、火おこし体験等）を実施した。</p> <p>◇知的障がい者1名の清掃業務への雇用を再委託先で実施。</p> <p>◇館内外の清掃、塵芥処理、館内空気環境測定を行い適正に環境を維持している。空気環境測定は4回実施し、結果はいずれも異常なしであった。</p> <p>◎自己評価</p> <p>「こころの再生」府民運動への協力等の提案に沿った事業の推進に努め、子どもとのコミュニケーションを深めるきっかけづくりを応援した。また、就労困難者の雇用によって、行政の福祉化の推進に寄与することができた。</p>	<p>A</p> <p>◇提案に沿った府施策との整合が図られているか</p> <ul style="list-style-type: none"> ○「こころの再生」府民運動への協力 ・「こどもファーストデイ」の実施 3月までに計 12回の開催が予定されており、評価基準を満たす見込みである <p>◇就職困難者等の雇用・就労支援の実施</p> <p>計画どおりの雇用がなされている。</p> <p>◇環境問題への取り組み状況</p> <p>適切に実施されている。</p> <p>◎府施策との整合</p> <p>すべての評価基準を満たしている。また、「こどもファーストデイ」では、月によりワークショップの内容を変え、多様な事業が実施されている。</p>	<p>A</p>	<p>A</p>	

IIさらなるサービスの向上に関する事項	(1)利用者満足度調査等	<p>◇利用者満足度調査の実施により利用者の意見を把握し、その結果を運営に反映しているか</p> <p>○利用者満足度調査の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> 調査実施回数 4回 	<p>○利用者満足度調査の実施</p> <p>・調査実施回数 4回（うち 2回は実施予定）</p> <p>春季企画展「とんぼ玉100人展」と夏季特別展「弥生のマツリを探る」について、満足度調査を実施し、結果を集計した。秋季特別展についても調査中で、今後、冬季企画展においても調査を実施する予定である。</p> <p>・満足度調査結果（数値）</p> <p>春季企画展 64.0（95.7）%</p> <p>夏季特別展 67.1（97.4）%</p> <p style="text-align: center;">※（ ）内はやや満足を含む値</p> <p>・利用者意見の反映事例</p> <p>特別展についての音声解説の要望を受け、秋季特別展において、声優による音声ガイド「ハルポクラテスの古代エジプトツアー」を制作し希望者に無料で提供した。券売機の液晶画面に常設展と企画展の購入ボタンが併記されるため、迷ってしまうとの意見を受けて、案内用のシールを貼って入館券を購入しやすいようにした。</p> <p>◎自己評価</p> <p>春季企画展・夏季特別展の利用者満足度調査から、満足とやや満足を足した割合が平均96%を超えた。調査の結果については、幹部会議、館内会議、所管課との連絡会議で共有している。利用者から出された意見については、その内容を分析の上、展示室やホールの室温調整など必要な改善を行い、館運営に反映した。特に、展示方法、館内施設等への意見は積極的に取り入れ、良好な博物館環境の維持に努めた。特別展や企画展のテーマ選択、講演会テーマの決定、スポット展示の遺跡選択などにあたっては、来館者アンケートによる意見等も参考にしながら、慎重に検討し決定した。</p>	A	<p>○利用者満足度調査の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> 調査実施回数 <p>3月までに計4回の実施が予定されており、評価基準を満たす見込みである。</p> <p>◎利用者満足度調査等</p> <p>評価基準を満たしている。また、実施ごとに結果のまとめ・分析・共有がなされ、利用者の意見を反映した管理・運営の改善につながっている。</p>	A	A	
	(2)その他創意工夫	<p>◇その他指定管理者によるサービス向上につながる取組み、創意工夫が行われているか</p>	<ul style="list-style-type: none"> 春季企画展に関して、ヤフーにおけるターゲット広告を実施した。 夏季特別展に関して産経新聞大阪本社版に、秋季特別展に関して朝日新聞大阪本社版に広告を掲載した。 関西観光情報センター情報コーナーへの館行事チラシの配架などによって、関西国際空港内での広報を実施した。 和泉市養護教諭部会、泉州・紀北ミュージアムネットワーク、近畿弥生の会等のグループによるホール利 	S	<p>ターゲット広告の実施等、インスタグラムによる発信の開始等、広報における新たな取組みが行われている。</p> <p>また、カード型教材「はくふだ」の活用、特別展でのVRコンテンツ追加等、平成29年度文化庁補助事業の成果を活用した取組みが実施されている。</p>	S	S	

			用に対応し、館の幅広い活用を促進させた。																					
			<p>◎自己評価</p> <p>特別展の開催時期に効果的に新聞広告を掲載し、広域に特別展の周知を図ることができた。また、新たな試みとして、企画展に関するインターネットターゲット広告を実施し、一定の効果を得ることができた。</p>																					
			<p>◎自己評価</p> <p>特別展の開催時期に効果的に新聞広告を掲載し、広域に特別展の周知を図ることができた。また、新たな試みとして、企画展に関するインターネットターゲット広告を実施し、一定の効果を得ることができた。</p>																					
Ⅲ 適正な管理業務の遂行を図ることができる能力及び財政基盤に関する項目	(1) 収支計画の内容、適格性及び実現の程度	◇事業収支について、計画どおりに実施されているか	<p>◇予算の範囲内で効果的かつ効率的な事業運営ができる事業計画を立案し、かつ、予算支出にあたっては費用対効果を勘案しつつ、比較見積りでの経費節減等を行いながら、最小経費で執行した。また、民間企業から協賛金（80,000円）を得て特別展事業を充実させたほか、国際ソロプチミスト大阪いずみより寄附金（50,000円）を受けて図書コーナーを充実させた。</p> <p>◎自己評価</p> <p>予算の範囲内で効果的な事業計画を策定し、その執行に当たっては経費節減に留意し収入・支出のバランスの取れた事業を進めることができた。</p> <p>収支計画（当初予算）</p> <table border="0"> <tr><td>収入</td><td></td></tr> <tr><td>大阪府委託費</td><td>115,383,000円</td></tr> <tr><td>入館料収入</td><td>4,165,000円</td></tr> <tr><td>計</td><td>119,548,000円</td></tr> <tr><td>支出</td><td></td></tr> <tr><td>施設維持管理費</td><td>22,524,000円</td></tr> <tr><td>人件費他</td><td>97,024,000円</td></tr> <tr><td>計</td><td>119,548,000円</td></tr> </table> <p>よって収支のバランスがとれている。</p>	収入		大阪府委託費	115,383,000円	入館料収入	4,165,000円	計	119,548,000円	支出		施設維持管理費	22,524,000円	人件費他	97,024,000円	計	119,548,000円	A	<p>経費削減に加え、外部資金の活用がなされている。</p> <p>◎収支計画の内容、適格性及び実現の程度にかかる評価</p> <p>計画に基づいた事業実施がなされており、評価基準を満たしている。</p>	A	A	
	収入																							
大阪府委託費	115,383,000円																							
入館料収入	4,165,000円																							
計	119,548,000円																							
支出																								
施設維持管理費	22,524,000円																							
人件費他	97,024,000円																							
計	119,548,000円																							
(2) 安定的な運営が可能となる人的能力	<p>◇必要な人員数及び人材を確保・配置のうえ、適切に事業が実施されているか</p> <p>◇従事者への管理監督体制・責任体制が整備されているか</p>	<p>◇提案に沿った人員を博物館に配置し、事業計画に沿って適切に事業を実施した。</p> <p>◇大阪府文化財センター本部における幹部会議、博物館定例会議、所管課との連絡会議（いずれも月1回）及び博物館内連絡調整会議（週1回）を開催し、事業情報の交換、入館状況、注意事項等の周知を図り、責任体制を明確にし、設置者及び法人本部からの適切な</p>	A	<p>◇必要な人員数及び人材を確保・配置のうえ、適切に事業が実施されているか</p> <p>適切な人員配置により、充実した事業実施がなされている。</p> <p>◇従事者への管理監督体制・責任体制が整備されているか</p> <p>関係者間で日常的に密な連絡調整・情報共有がなされ、明確な管理監督・責任体制のもとで管理・運営がなされている。</p>	A	A																		

		<p>指導・管理監督体制のもとに円滑な組織運営を行った。</p> <p>◎自己評価 博物館の運営を効率的に進めるために必要な職員を、博物館と本部に配置し、適正な管理監督体制・責任体制を維持しながら、適切に事業が実施できた。</p>		<p>◎安定的な運営が可能となる人的能力にかかる評価 必要な人員の配置による確実な管理監督体制のもと、適切な業務が実施されていることから、評価基準を満たしている。</p>			
(3) 安定的な運営が可能となる財政的基盤	◇法人の財務状況は適切か	<p>【大阪府文化財センター】 大阪府内の発掘調査の受託事業や博物館の管理運営を、スリムな組織体制と経費節減の徹底により安定的に経営している。</p> <p>29年度事業収入 564,901 千円 29年度事業活動収入 628,339 千円 29年度法人の基本財産 116,700 千円 29年度正味財産期末残高 1,539,873 千円 借入金なし</p> <p>【近鉄ビルサービス】 近鉄グループのビル物件等を中心に、地方公共団体や民間企業の施設維持管理業務等を受注し、さらに徹底したコスト削減により安定的収益を維持している。</p> <p>29年度売上額 20,214,081 千円 29年度純利益 622,801 千円 借入金なし</p> <p>◎自己評価 両法人ともに経営規模・事業規模・組織規模及び財務状況において、博物館の安定経営が可能となる体制を維持した。</p>	A	<p>大阪文化財センター、近鉄ビルサービスとも、収入や売上高の著しい減少はみとめられず、借入金もない。</p> <p>また、近鉄グループホールディングス株式会社についても大きな変動はみとめられない。</p> <p>◎安定的な運営が可能となる財政的基盤にかかる評価 グループの各構成員、構成員の親会社とも安定した経営状況にあり、評価基準を満たしている。</p>	A	A	

※評価の基準：評価は下記の4段階評価とする。

S：計画を上回る優良な実施状況 A：計画どおりの良好な実施状況 B：計画どおりではないが、ほぼ良好な実施状況 C：改善を要する実施状況